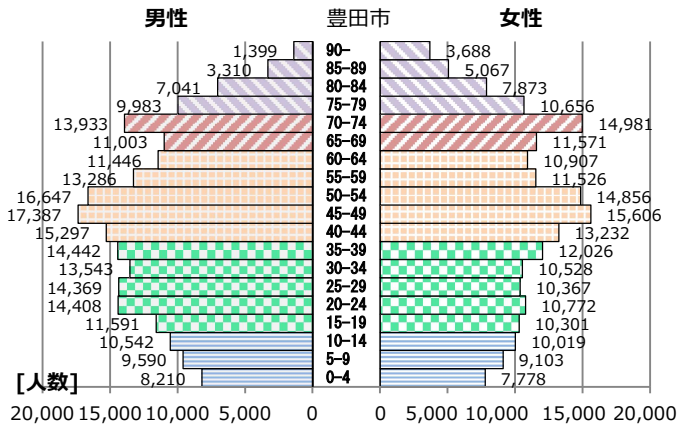


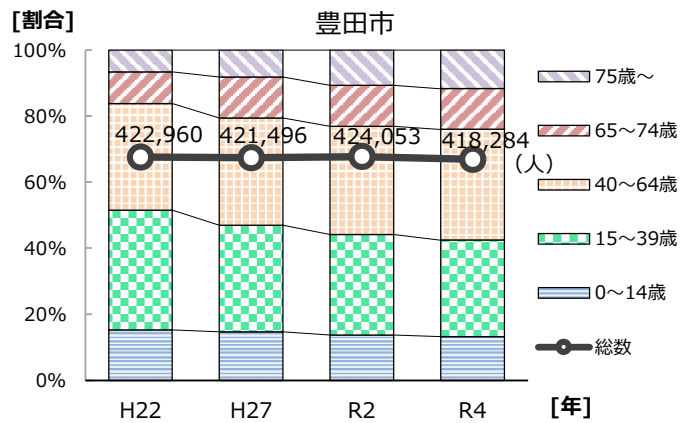
藤岡南中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



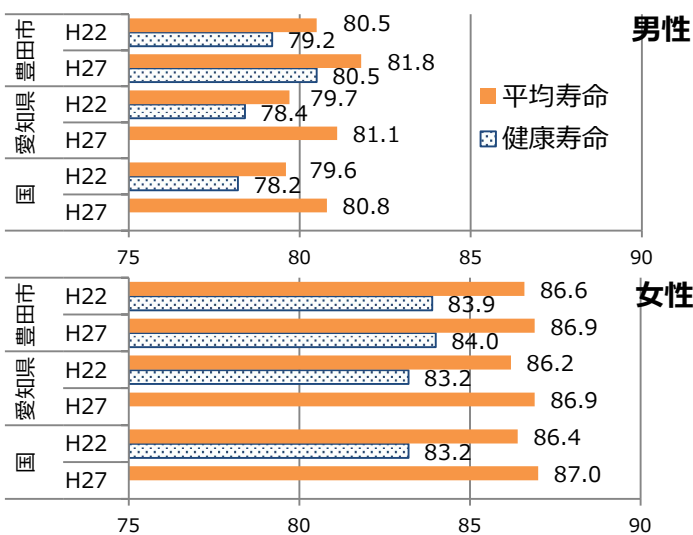
②人口推移 (各年4月1日)



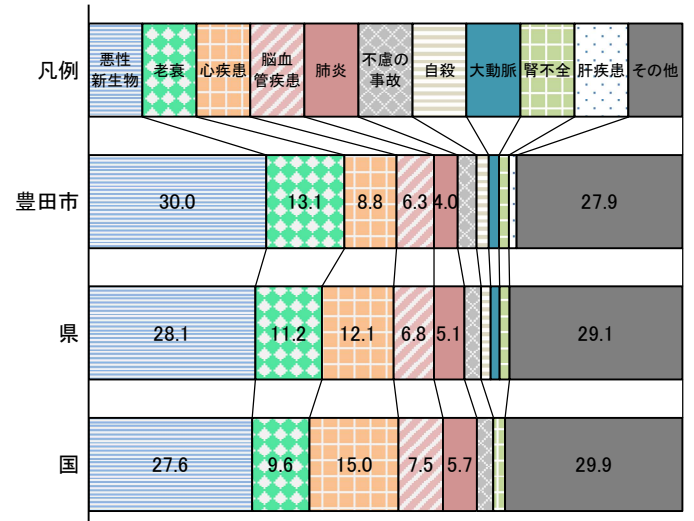
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性 217,427人、女性 200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

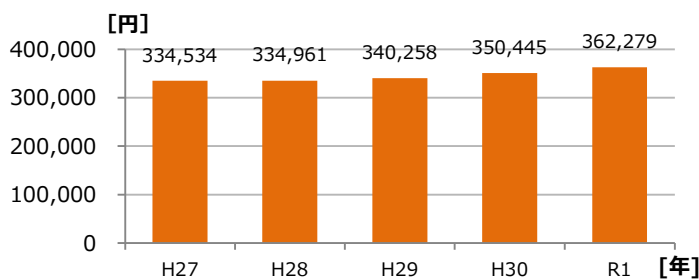


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

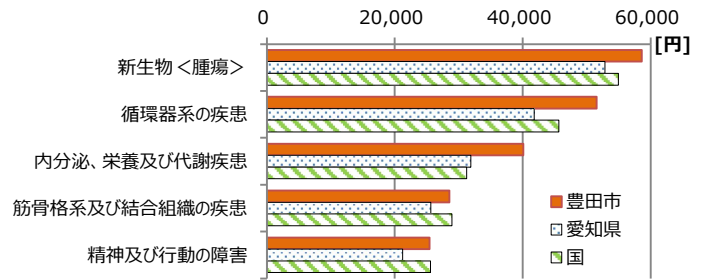


国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

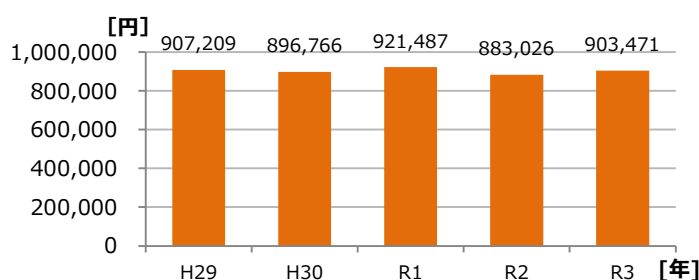


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

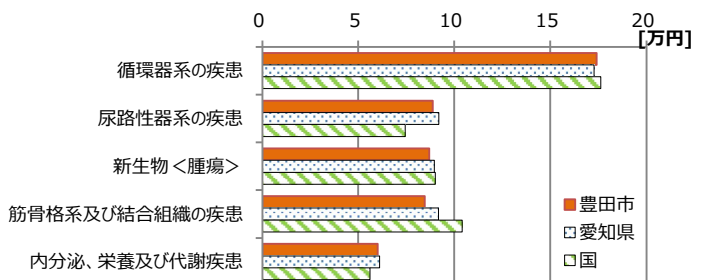


後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)

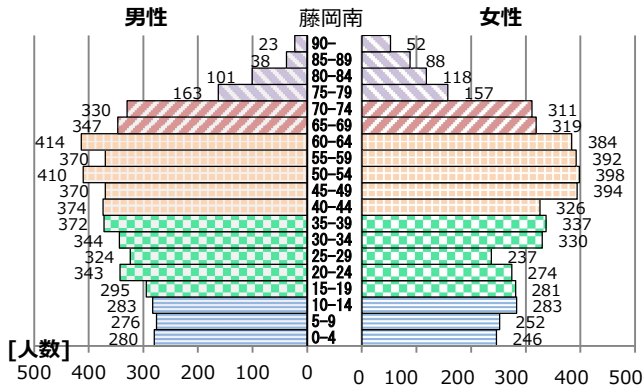


⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

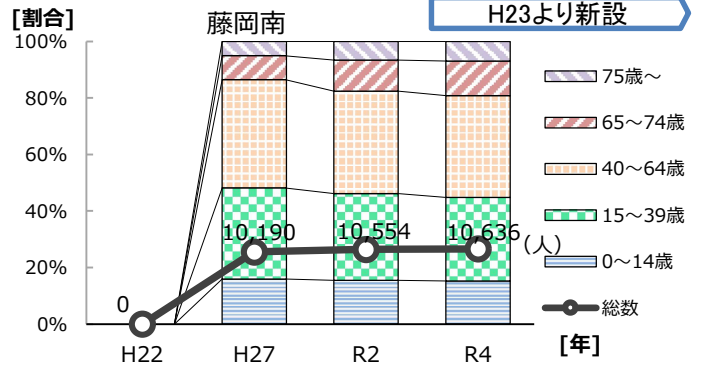


● 藤岡南地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



⑪人口推移 (各年4月1日)



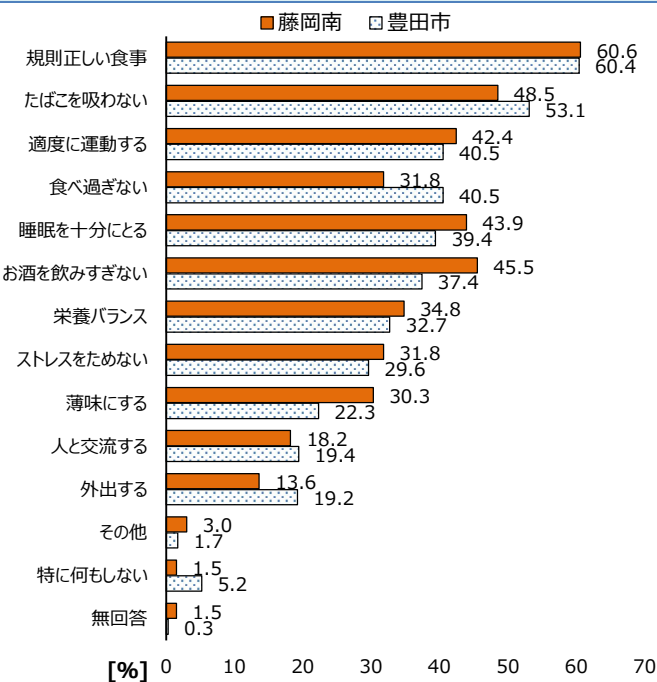
・総人口：10,636人 (男性5,457人、女性5,179人) ・世帯数：4,000 ・高齢化率：19.2%
 ・要介護認定率：12.8% (令和4年10月1日) ・外国人：331人

⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

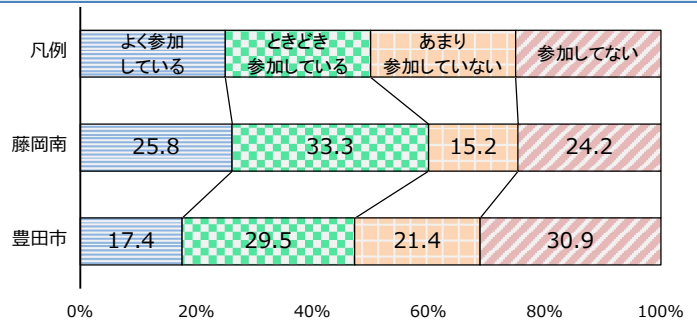
名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・6自治区
地域課題解決事業	・災害時に行動できる人材育成事業(防災対策)、健康づくり事業(健康増進)、石畳ふれあい広場魅力向上事業(観光交流)、ふじおか回遊促進事業(観光交流)
交流館	・自主グループ11グループ (うち健康・スポーツは3グループ)
ヘルスサポートリーダー	・会員数9人 ・交流館ふれあいまつり、コミュニティ会議福祉健康部会講演会、自主グループ等において、ベジタブル&トレーニングとよたプラス10の啓発、健康チェック、たべまる体操等を実施
高齢者クラブ	・4クラブ
ふれあいサロン	・10サロン
元気アップ教室 自主グループ	
その他	・豊田市社会福祉協議会藤岡支所主催：居場所づくり (ゆめ広場) 藤岡福祉センター ふじのさとにて開催 ・平成29年度「ふじなん健康づくりネットワーク」と共働で「藤岡南地区健康づくり計画」を作成 ・コミュニティ会議福祉健康部会では、福祉講演会やウォーキングを開催し、ヘルスサポートリーダー等が健康チェックなどを実施 ・4自治区の自主グループが、健康づくりをテーマに活動している。

市民意識調査(令和3年度)

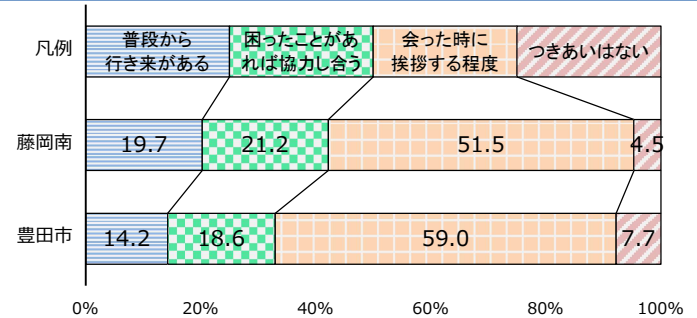
⑬健康づくりの取組内容



⑭自治区・地域活動への参加状況

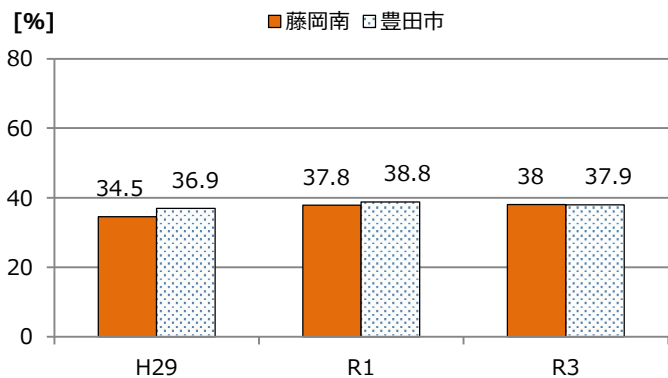


⑮実際の近所づきあい

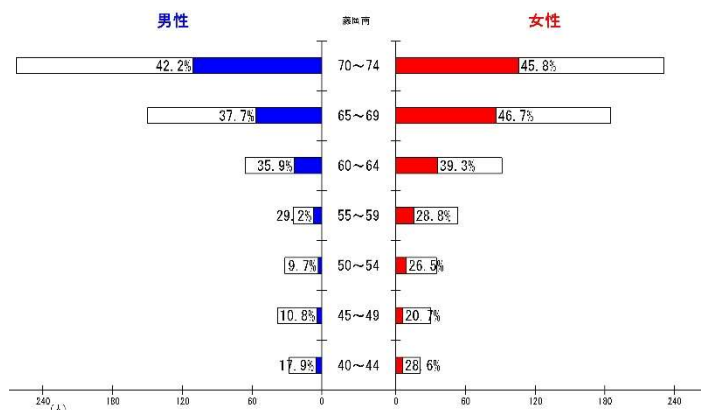


豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

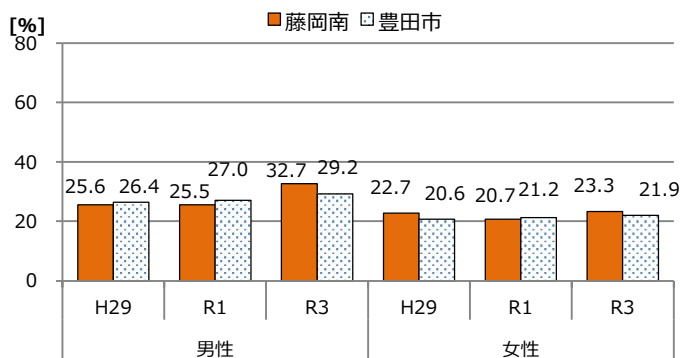
⑫ 健診受診率



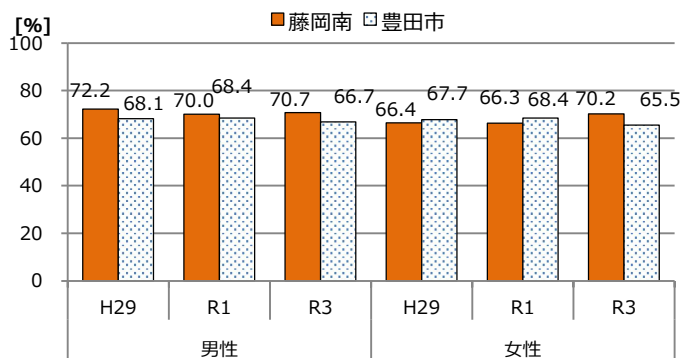
⑬ 年齢別受診者数(対象者数 1,217 人,受診者数 463 人)



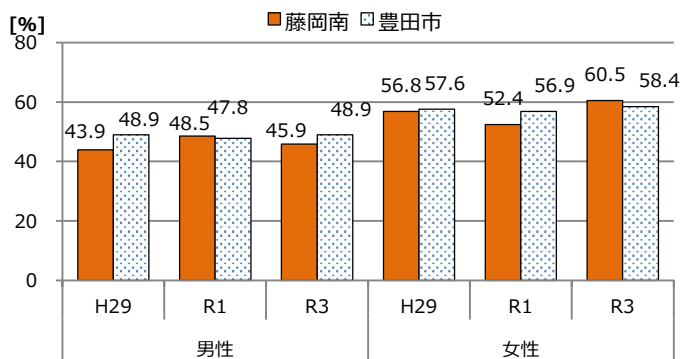
⑭ BMI (25 以上)



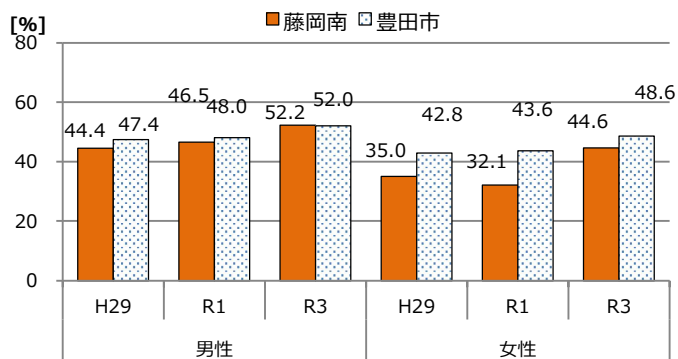
⑮ HbA1c (5.6%以上) * 糖尿病の指標の検査項目



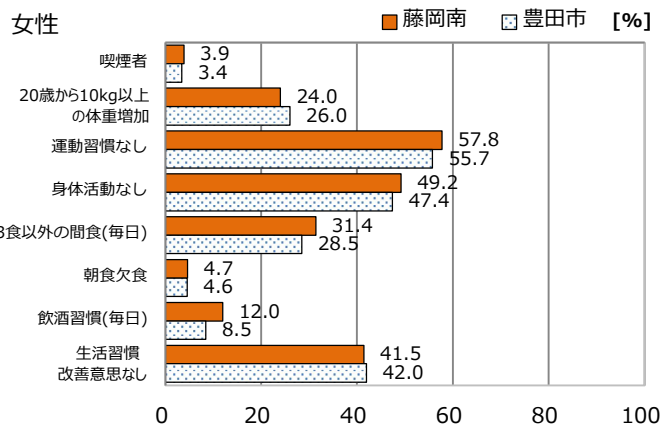
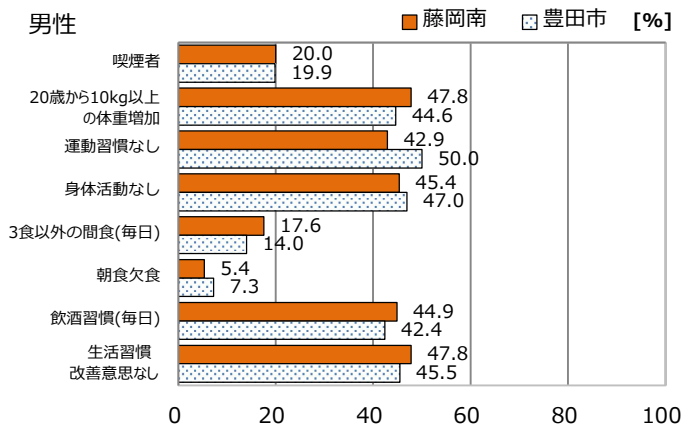
⑯ LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



⑰ 収縮期血圧 (130mmHg 以上)



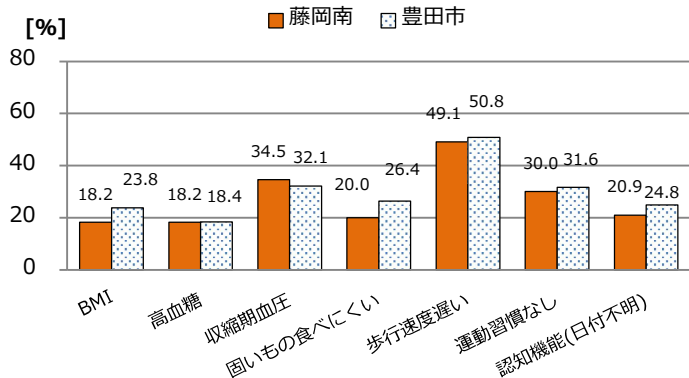
⑱ 問診



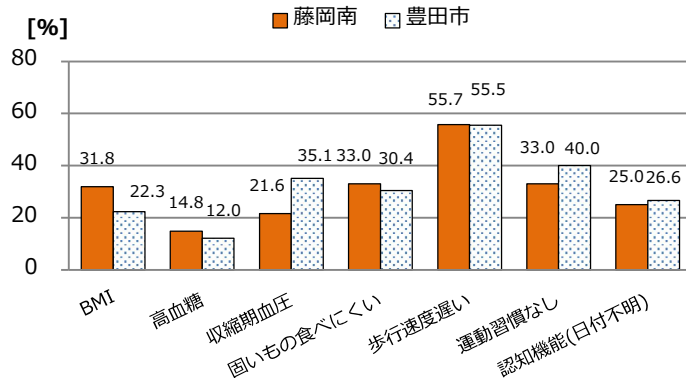
⑲ 国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	男性	生活習慣改善意思なし
	女性	HbA1c、生活習慣改善意思なし
国と比べ低い項目	男性	運動習慣なし
	女性	-

㉔男性



㉕女性



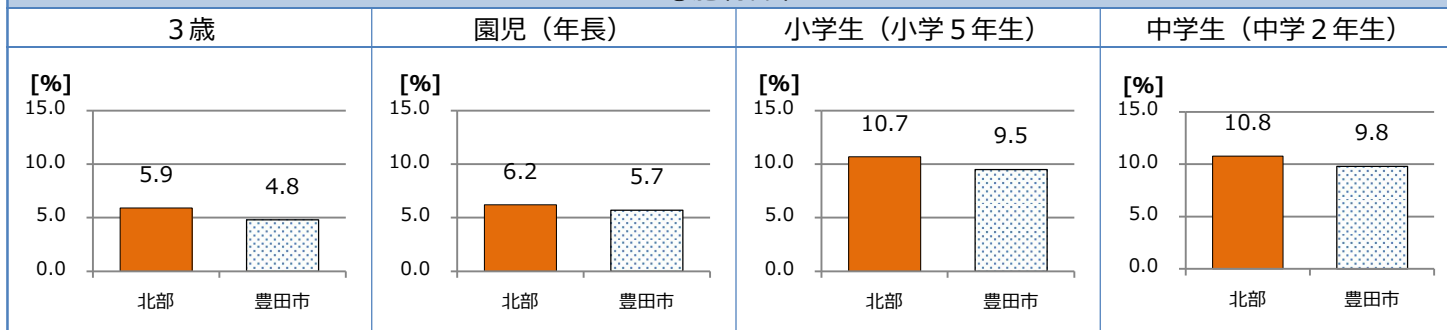
【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上

【地区の受診者数】 198 人(男性 110 人、女性 88 人)

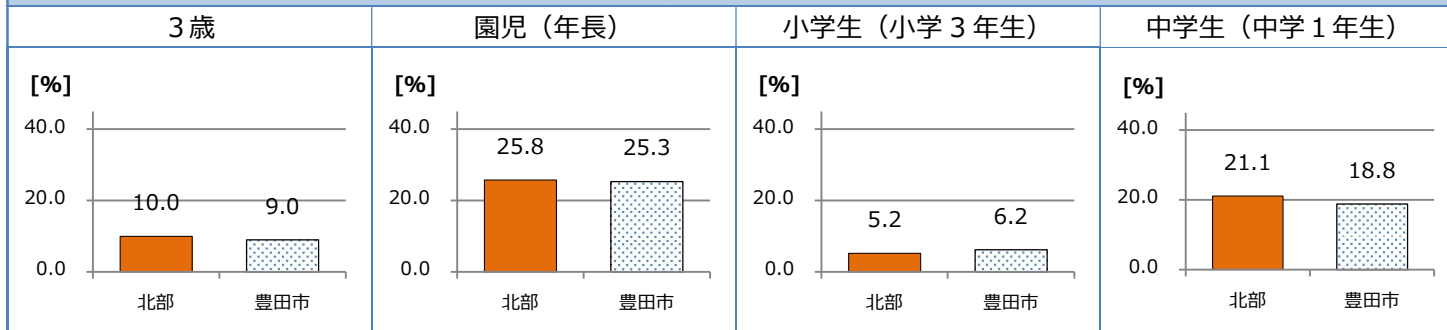
子ども 健康診査(令和3年度)

【北部】 井郷・石野・猿投・猿投台・保見・藤岡・藤岡南

㉖肥満者率



㉗う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査受診率は徐々に上がり、市と同等になった。引き続き、健診受診の意識づけや更なる受診率向上に向けた取組を継続する。
- ・国民健康保険特定健康診査結果では、年齢調整による国との比較では、女性の HbA1c や男女ともに「生活習慣改善意思なし」の割合が有意に高い。さらに、市と比較しても男女ともに BMI、HbA1c が高くなっている。そのため、病態生理の知識の普及や食生活、運動の習慣化への啓発が必要である。
- ・後期高齢者医療制度健康診査では、「運動習慣なし」の割合が市より低いため、引き続き、ウォーキングイベントの継続支援、元気アップ教室の開催及び健康づくり教室活性化等の運動習慣定着に向けた取組が必要である。
- ・市民意識調査の「自治区・地域活動」では、地区活動への参加割合が高いため、『藤岡南地区健康づくり計画』に基づき、地域活動等を通して、健康づくりに取り組む住民の増加を図ることが必要であると考える。